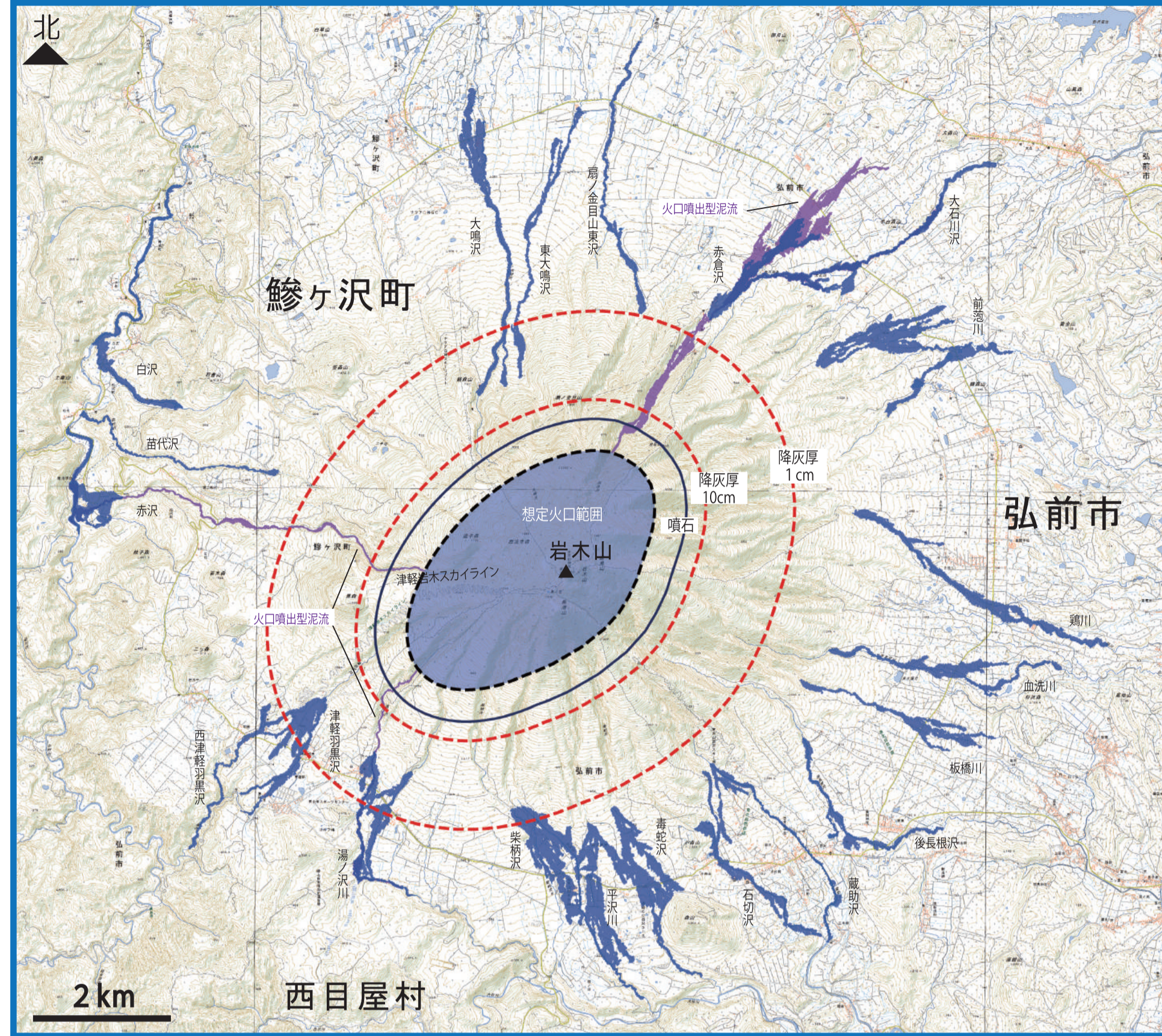


岩木山火山ハザードマップ(全域版)

水蒸気噴火の場合(予想図)

噴火警戒レベル2の段階から発生する現象と影響範囲



この図は降灰・噴石・火口噴出型泥流、降灰後の土石流の影響を受ける全ての方向の予想区域について示しています。

岩木山で発生が予想される噴火について水蒸気噴火の場合とマグマ噴火の場合の図を示しています。

水蒸気噴火で発生する現象の特徴

●岩木山の水蒸気噴火で発生が予想される現象として、降灰、噴石、火口噴出型泥流、降灰後の土石流があります。左の図ではこれらの現象により予想される影響範囲を示しています。

●このうち居住地域に影響が大きい現象は、岩木山の風下方向に降る降灰、降灰があった斜面から降雨後に発生する降灰後の土石流、火口から泥水が流れ出す火口噴出型泥流です。

●降灰があると、降り積もった火山灰が斜面の地表面をコーティングするように覆ってしまうため、雨水が地面に染み込まず、少量の雨でも雨水が短時間で谷に集まって流れ下るため土石流が発生しやすくなります。



火山灰によって地表面がコーティングされた状況(新燃岳)

土石流による被災状況(雲仙岳)

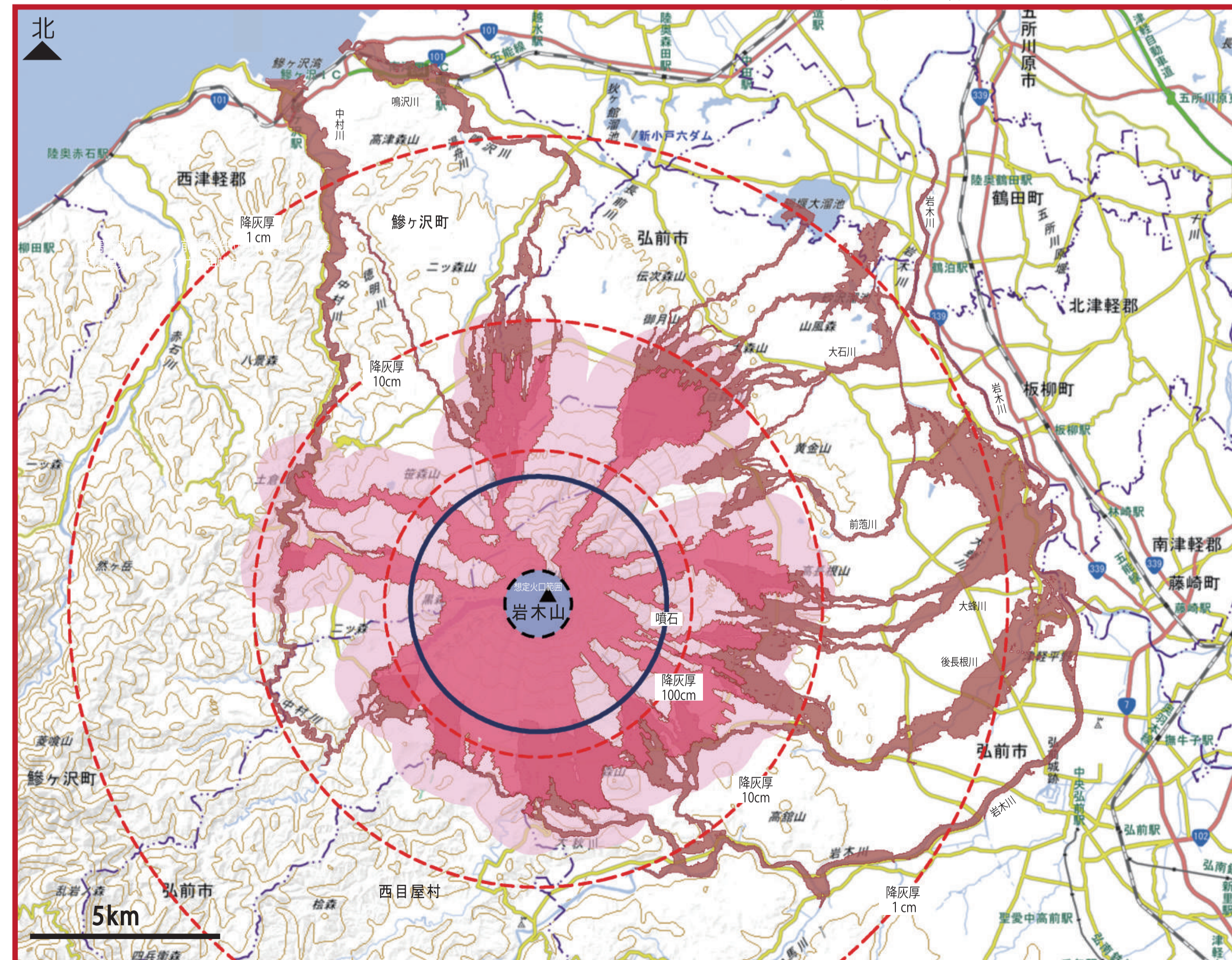
岩木山で予想される噴火現象とその影響

●岩木山の噴火にもよって様々な噴火現象が発生すると予想されます。ここではそのうちの代表的な現象について示しています。

<p>こうはい 降灰 (火山灰・小さな噴石)</p> <p>風の向き</p> <p>風下側の広範囲に影響</p> <p>火山で噴火が起きると火口から火山灰や火山ガスが放出され、噴煙が形成されます。噴煙に含まれる火山灰や小さな噴石は風に流されて、火山の風下側に積もります。降灰は少量でも道路の視界が悪くなったり、目や気管支に影響が出ることがあります。</p> <p>三宅島の噴火による噴煙と降灰</p> <p>有珠山の噴火による降灰に覆われた車</p> <p>このマップで想定した条件 水蒸気噴火は10万m³、マグマ噴火は1.318万m³(約6千年前の実績から推定)の火山灰が12月の平均風速で放出された場合を想定(全周方向)を表示。</p>	<p>ふんせき 噴石 (大きな噴石)</p> <p>火口～中腹まで影響</p> <p>爆発の勢いが激しい場合、火口から岩が弾道を描いて飛び散ることがあり「大きな噴石」と呼ばれます。大きな噴石が建物に直撃すると、屋根や壁を突き抜けることがあります。</p> <p>有珠山の噴火による噴石(山と屋根に穴のあいた建物(下))</p>	<p>ようがん 溶岩ドーム</p> <p>火口の周囲に影響</p> <p>溶岩流は、高温で溶けた岩(マグマ)が火口からあふれ出して遅い速度で流れ出すものです。岩木山ではマグマの粘り気が強い溶岩ドームという盛り上がった地形を形成しやすいと考えられます。</p> <p>雲仙首賢岳の溶岩ドーム</p>	<p>かさいりゅう かさい 火砕流・火砕サージ</p> <p>火口～山麓まで影響</p> <p>火砕流は、高温の火山ガス・軽石・火山灰などが混合し、高速で落下する現象です。落下するスピードは時速100kmを超えることもあり、噴火で起る現象の中でも特に破壊力が大きな恐ろしい現象です。火砕流が発生する時には、火砕サージと呼ばれる高速・高温で危険な熱風を伴って流れます。火砕流が発生する仕組みによって、溶岩ドーム崩壊型火砕流、噴煙柱崩壊型火砕流と専門的に呼び分けることもあります。</p> <p>雲仙首賢岳の火砕流</p>	<p>ゆうせつがたがざんでいりゅう 融雪型火山泥流 (融雪型火山泥流) 及び火口噴出型泥流</p> <p>川沿いの広範囲に氾濫</p> <p>積雪期に噴火が起こり火口周辺の雪が高温の火砕流に覆われた場合などに、急速に雪が融けて融雪型火山泥流が発生します。この泥流は落下する途中で樹木や深流沿いの岩を巻き込んで破壊力を増し、山麓に大きな被害をもたらします。大量の泥水が短時間に発生するため、降雨で発生する土石流に比べて氾濫範囲が広がります。このほか噴火とともに火口から少量の泥水が流れ出す泥流(火口噴出型泥流)が発生することがあります。</p> <p>十勝岳の噴火による火山泥流で氾濫した川の様子</p>	<p>こうはいご どせきりゅう 降灰後の土石流</p> <p>川沿いの地域に氾濫</p> <p>降雨による泥水と土砂が入り混じって沢を流れる現象です。火山泥流と同様、流下の途中で川沿いの樹木や大きな岩を巻き込むことによって、山麓に大きな被害をもたらすことがあります。噴火によって山に火山灰が積もった場合、比較的少ない降雨でも土石流が発生しやすくなります。</p> <p>昭和50年に百沢で発生した土石流の氾濫の様子</p>	<p>かざん 火山ガス</p> <p>噴火の活動が活発になると、二酸化硫黄や二酸化炭素を多く含んだガスが放出されます。風の弱い時などに噴火孔周辺の凹地などに立ち入ると非常に危険です。</p> <p>しめんほうかいじ 斜面崩壊・地すべり</p> <p>噴火や地震などが引き金になって山の斜面が大きく崩れたり、滑り落ちる現象です。発生する規模が大きい場合には落ちた周辺一帯が土砂に埋もれて大きな被害が発生します。</p> <p>ちかくへんどう 地殻変動</p> <p>地下のマグマが地表付近に上昇してきた場合に、火山やその周辺の土地を变形させることがあります。道路や建物に被害が出ます。</p> <p>じしん 地震</p> <p>マグマが地表付近に上昇する時に、周囲の岩盤を壊して地震を発生させます。マグマの上付近の地帯で、震度5以上の有感地震に5回以上も発生します。</p>
---	--	---	--	--	--	--

マグマ噴火の場合(予想図)

噴火警戒レベル3以上の段階で発生する現象と影響範囲



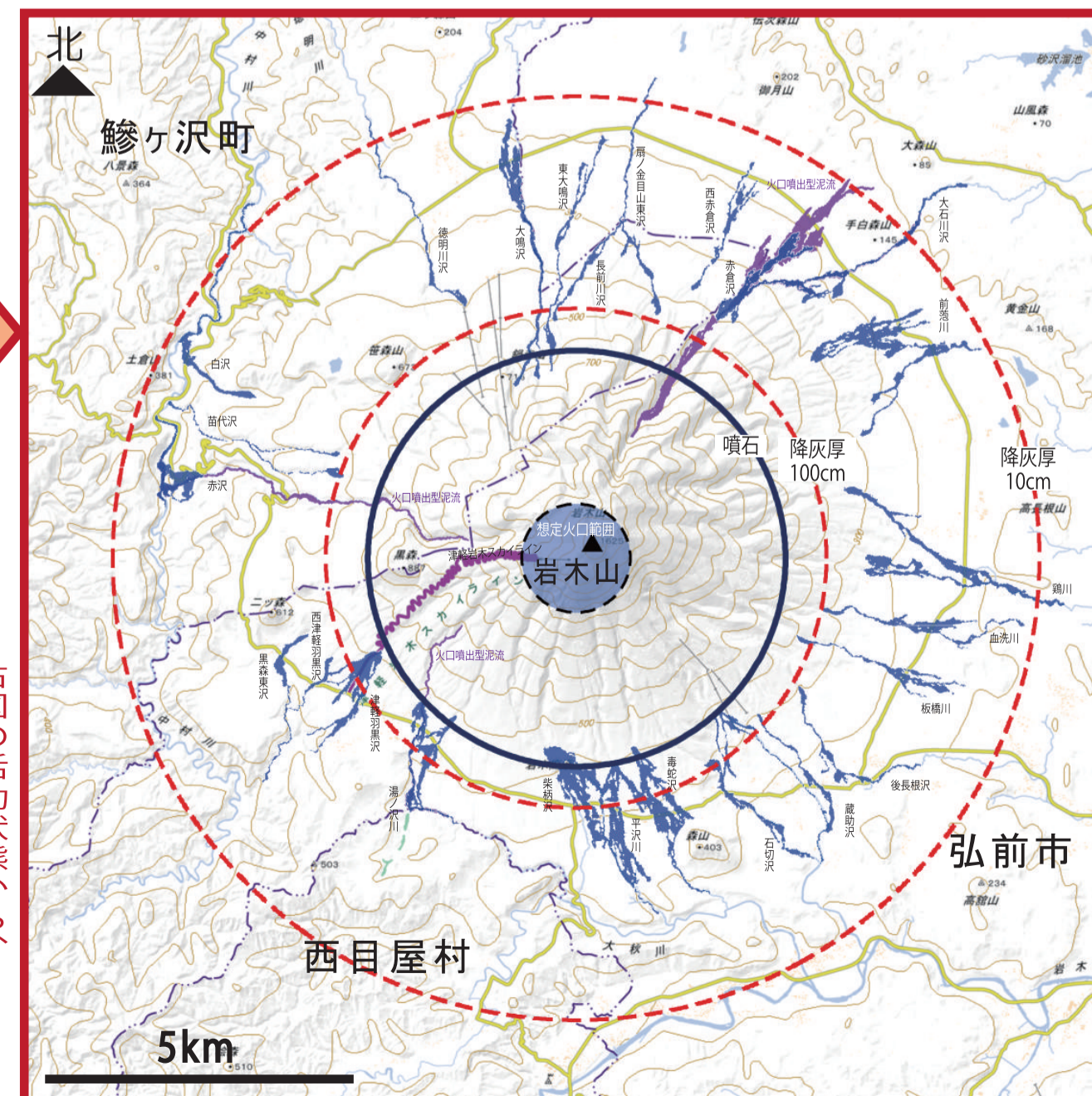
この図は火砕流・火砕サージ・融雪型火山泥流の影響を受ける全ての予想区域について示しています。一回の噴火でこの図に示した全ての方向に現象が流下するわけではありません。

火砕流・火砕サージはレベル4以上で発生融雪型火山泥流はレベル4以上で、かつ、積雪期にのみ発生

マグマ噴火で発生する現象の特徴

- マグマ噴火は、噴火警戒レベル3以上のときに発生する可能性があります。
- 水蒸気噴火の場合と同様に、山体斜面に降灰があった場合、少量の降雨でも土石流が発生しやすくなります。
- マグマ噴火で発生する現象のうち、火砕流・火砕サージはレベル4以上で発生する想定です。また、融雪型火山泥流はレベル4以上で、かつ、積雪期にのみ発生する想定です。
- 火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が居住地域に流下してくる場合、甚大な被害が発生すると予想されます。

噴火警戒レベル3以上の段階で大規模な噴火に至っていない場合 (降灰・噴石・火口噴出型泥流・降灰後の土石流が発生)



この図は降灰・噴石・火口噴出型泥流、降灰後の土石流の影響を受ける全ての方向の予想区域について示しています。一回の噴火でこの図に示した全ての方向に現象が流下するわけではありません。

記号の色と意味

青枠は水蒸気噴火での発生を想定

火口 スカイライン・登山道・リフト施設等の破壊

想定火口範囲 想定火口の円内では、どこからでも噴火が発生する可能性があります。

噴石 人体への被害、リフト施設等の破壊

噴石が弾道を描いて飛び散る範囲を、全方向について示しています。

降灰 健康被害、施設等の崩壊、交通障害、農作物・森林等の被害

風下の場合の予想降灰層厚を、全方向について示しています。

火口噴出型泥流

噴火にもよって、火口から泥水が溢れ出す場合の氾濫する範囲を示しています。

噴火の直後には…

降灰後の土石流 人体への被害、家屋・畑・道路等への被害

噴火後の降雨による土石流の予想氾濫範囲を示しています。土石流は降灰があった渓流で発生しやすくなります。

マグマ噴火では水蒸気噴火の現象に加えて、以下の現象の発生を想定

全ての方向に、同時に流下するわけではありません。

火砕流・火砕サージ 人体への被害、施設等の破壊、山火事、農作物・森林等の被害

色のやや濃い部分 火砕流の土砂(本体)の流下範囲を示しています。

色の薄い部分 熱風(火砕サージ)の到達範囲を示しています。

雪の多い時期には…

融雪型火山泥流 人体への被害、家屋・畑・道路等への被害

融雪型火山泥流が流下し、氾濫する範囲を示しています。

火砕流が流下した斜面で雪が融けて発生します。全ての方向で同時に発生するわけではありません。

岩木山噴火時の避難所リスト

避難対象地区	避難所
常盤野地区◇、高岡地区、新法師地区	岩木B&G海洋センター
百沢地区(杉山町会・上弥生町会含む)	中央公民館岩木館・岩木文化センター・北辰学区高杉ふれあいセンター
弥生地区(弥生町会含む)、裾野地区(一部)、独狐地区(一部)◆、前坂地区(一部)◆	北辰学区高杉ふれあいセンター
高野地区 ◆、館後地区 ◆、国吉地区 ◆、黒土地区 ◆、吉川地区(一部) ◆	東目屋ふれあいセンター
葛原地区 ◆、新岡地区(一部)◆、宮地地区 ◆、五代地区(一部) ◆、賀田地区(一部) ◆	岩木小学校
八幡地区 ◆、蒔苗地区(一部) ◆	船沢中学校
高屋地区(一部) ◆、横町地区(一部) ◆、土堂地区(一部) ◆、元薬師堂地区(一部) ◆	河西体育センター
石渡地区(一部) ◆、中崎地区 ◆	致遠小学校
中別所地区(一部) ◆、折笠地区(一部) ◆、宮籠地区(一部) ◆	船沢小学校
三世寺地区(一部) ◆	北辰学区高杉ふれあいセンター・北辰中学校
高杉地区(一部) ◆	北辰中学校
大川地区 ◆	北辰中学校・新和小学校
青女子地区 ◆	新和中学校・新和小学校・新和地区体育文化交流センター
種市地区(一部) ◆	新和中学校
楢木地区(一部) ◆、鬼沢地区(一部) ◆	自得小学校
小友地区(一部) ◆、三和地区(一部) ◆、貝沢地区(一部) ◆、大森地区(一部) ◆、十面沢地区(一部) ◆	裾野地区体育文化交流センター
紙漣沢地区(一部) ◆	相馬総合支所
観光客、帰宅困難者	中央公民館岩木館・岩木文化センター
避難対象地区	避難所
中村地区	旧建石小学校・西海小学校・中村公民館
舞戸地区 ◆	緋ヶ沢中学校・勤労者体育センター
緋ヶ沢地区 ◆	西海小学校
鳴沢地区 ◆	旧鳴沢小学校
観光客、帰宅困難者	緋ヶ沢中学校第2体育館・勤労者体育センター
西目屋村	杉ヶ沢地区研修センター・西目屋村中央公民館・西目屋小学校体育館
藤崎町	藤崎町老人福祉センター・藤崎町役場
板柳町	板柳町多目的ホールあぶる・板柳町公民館
鶴田町	水元中央小学校・胡桃館小学校

◇印は、特定地域のため、噴火警戒レベル2で避難準備、噴火警戒レベル3で避難が必要な地区です。◆印は、融雪型火山泥流の発生が予想される場合に避難が必要な地区です。

避難所について、より詳細にご覧になりたい方は市役所や町・村役場(防災担当課)や最寄りの支所にお尋ねください。